

揭秘

NLPT

根据2010最新考纲编写

日本语能力测试

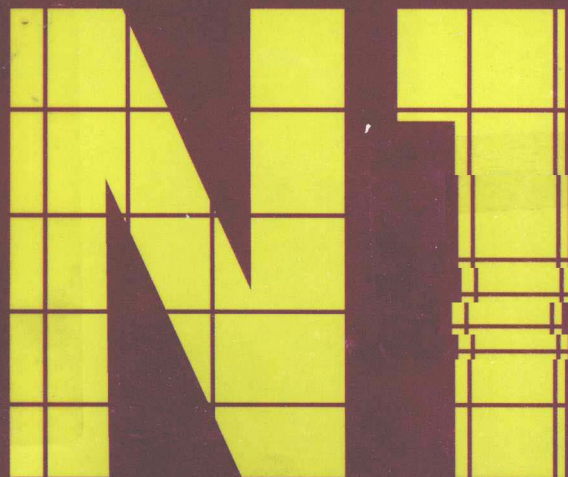
新

读解

新試験完全対応!

- 考点分频排序，科学布局由重及轻。
- 主题领域划分，解题技巧各个击破。
- 重点词汇、点晴考点、考试动向、通关要诀。

佳禾外语
JIAHEWAIYU



外文出版社
FOREIGN LANGUAGES PRESS

主审／菅阳子（日）

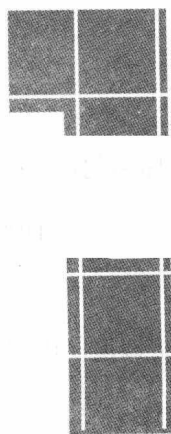
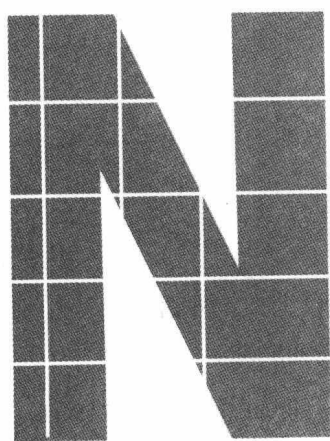
主编／李振东

附赠《N1读解考点词汇、文法分频分类记忆手册》

揭秘 NLP 新 日本语能力测试

主审／菅阳子（日）
主编／李振东
副主编／龙艺青 鲁璐
编委／诸纳 张泼 李雪 许文娟 骆晓 刘璐 段兰罪

 佳禾外语
JIAHEWAIYU



读

 外文出版社
FOREIGN LANGUAGES PRESS

图书在版编目(CIP)数据

揭秘新日本语能力测试 N1 读解 / 李振东主编.

北京: 外文出版社, 2010

ISBN 978-7-119-06342-3

I. ①揭… II. ①李… III. ①日语—阅读教学—水平考试—自学参考资料

IV. ①H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2010)第 052247 号

责任编辑: 刘承忠 李 黎

装帧设计: 佳禾书装

印刷监制: 张国祥

揭秘新日本语能力测试 N1 读解

主 编: 李振东

©2010 外文出版社

出版发行: 外文出版社

地址: 北京西城区百万庄大街 24 号 邮政编码 100037

网址: <http://www.flp.com.cn>

电话: (010) 68320579 / 68996067 (总编室)

(010) 68995844 / 68995852 (发行部)

(010) 68327750 / 68996164 (版权部)

印 制: 北京海德伟业印务有限公司

经 销: 新华书店 / 外文书店

开 本: 787×1092mm 1/16

印 张: 20

字 数: 426 千字

装 别: 平

版 次: 2010 年第 1 版 2010 年 7 月第 1 版第 1 次印刷

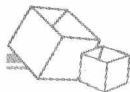
书 号: ISBN 978-7-119-06342-3

定 价: 32.00 元

建议上架: 外语

版权所有 侵权必究 如有印装问题本社负责调换 (电话: 68995852)

前言



日本語能力测试(JLPT)是由日本国际交流基金会和日本国际教育协会为全世界的日语学习者设置的一项国际性日语水平考试,参加考试的人数从1984年的7000人左右增加到2008年的56万人,是世界上规模最大的日本語考试。

从2010年起,日本語能力测试的题型以及考查重点发生了重大变化,考试级别也由原来的四个变为五个:N1(稍高于原来的一级水平),N2(相当于原来的二级水平),N3(相当于原来的二级和三级之间的水平),N4(相当于原来的三级水平),N5(相当于原来的四级水平)。N1的考试题型由原来的“文字·词汇”“听解”“读解·文法”三部分变为“语言知识(文字·词汇·文法)·读解”和“听解”两部分,考试时长为“语言知识·读解”110分钟,“听解”60分钟。分值比例为“语言知识”“读解”“听解”各占60分,总分180分。考试仍然延续选择题的形式,暂不加入口语和书写方面的考试形式。

为了配合这次日本語能力测试的重大改革,我们潜心研究新考试大纲,准确把握改革动向。同时,结合对1991~2009年历年真题进行的数理分析,就日本語能力测试中读解部分的出题规律进行了总结,按内容及考查点分成10大章38小节,并同时归纳出考点、文中关键词和关键文法,力求使考生不但能掌握在备考时应掌握的重点,而且还能学到应试技巧。

与同类型的其他图书相比,本书具有以下特点:

- (1) 具有建立在科学而系统的数理统计分析基础之上的读解出题规律分析;
- (2) 分门别类地收录了1991~2009年度(共19年)的读解试题;
- (3) 根据新考试大纲进行大胆预测,加入新题型预测题;
- (4) 依据出题概率和所属级别的统计结果,将练习材料分类排序,方便读者有针对性地学习;
- (5) 运用定量与定性相结合的应试技巧分析,涉及内容广泛,启发考生的学习

思路。

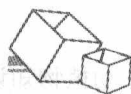
(6) 另外随书附赠《N1读解考点词汇、文法分频分类记忆手册》，同时可以免费下载其网络珍藏版，以加强读者的综合备考能力。

在编写本书的过程中，参考了国内外的相关书籍，在此一并向各位编者、译者表示感谢。同时，特别鸣谢大连市日语教师协会所给予的大力协助。

由于编纂工作浩繁，失误在所难免，望广大读者、同仁不吝指正，共同进步。

编者

目录



第1章 社会生活	001
第1节 日常生活	001
第2节 生活体验	025
第3节 为人处世	038
第4节 教育与学习	054
第5节 语言与学习	067
第6节 人生态度	076
第7节 医疗与健康	084
第8节 文化传统	093
第9节 人生感悟	098
第10节 兴趣与爱好	101
第11节 政治	103
答案	104
第2章 社会宏观	107
第1节 教育与学习	107
第2节 人生态度	113
第3节 雇佣就业问题	117
第4节 环境保护问题	121
第5节 人口问题	126
第6节 政治问题	130
第7节 交通问题	133
第8节 老年少子化问题	135
第9节 国民意识	138
第10节 女性社会问题	140
第11节 日常生活	142
第12节 社会调查	143
第13节 生活体验	144
第14节 文化传统	145
答案	147
第3章 科普知识	149
第1节 心理科学	149
第2节 人脑机能	155

第3节	动植物知识·····	162
第4节	发明制造·····	165
第5节	医学知识·····	167
第6节	自然与艺术·····	170
	答案·····	171
第4章	地理与环境·····	172
第1节	地理知识·····	172
第2节	城市规划·····	174
第3节	地震预警·····	175
	答案·····	176
第5章	现代科技·····	177
第1节	IT、计算机、互联网·····	177
第2节	机器人·····	179
	答案·····	180
第6章	经济与经营·····	181
第1节	企业经营·····	181
第2节	宏观经济·····	183
	答案·····	184
第7章	综合理解·····	185
	答案·····	204
第8章	主张理解·····	205
	答案·····	234
第9章	信息检索·····	235
	答案·····	245
第10章	内容理解·····	246
	答案·····	265



第1章 社会生活



第1节 日常生活

(1)

親孝行という話をすれば、私はいろんな人に、子供に期待するなよ、ということを言うんですね。なかば冗談なのですが、子供は親孝行なんかする必要ないんだと。なぜかといえば、子供が生まれる前、そして生まれた瞬間、それから六つ七つぐらいまでのあいだに、子供は親に生きる喜びというものを十分与えつくしているのだから、というふうに言うのです。

昔、私の友人でも、生まれる子供の名前を一生懸命に考えて、暇があればノートに書きつけているような男が、おりました。そのことは彼の生きていく上でのひとつの喜びだったと思います。そして子供が生まれる。そのうちに片言でパパ、なんて言ったりする。それから歩くようになる。(中略)幼稚園にはいり、小学校にあがる。子供の誕生から成長の過程のなかで、そのつど両親は言葉につくせないほどの人生の喜びというものをあじわいつくしているんじゃないかと思います。

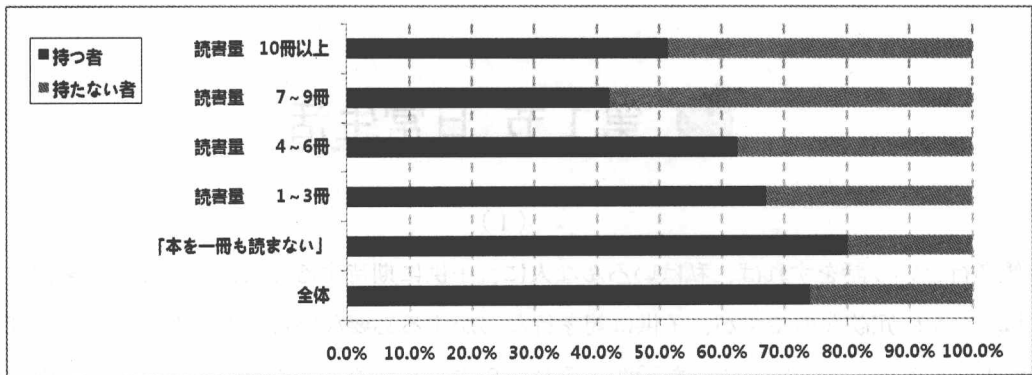
(五木寛之『人生の目的』による)

【問】筆者の考えと合うものはどれか。

- 1 親は子供に親孝行を期待してもよいが、子供が十分成長するまで待つべきであろう。
- 2 親は子供が幼い時に愛情を与えつくしたのだから、子供が親孝行するのは自然であろう。
- 3 子供は幼いころに親に対して生きる喜びをすでに与えており、それが何よりの親孝行であろう。
- 4 子供の成長は親にとって生きていく上での喜びだが、子供の側も親が喜ぶように孝行するべきであろう。

(2)

下のグラフは、高校生の携帯電話の所持と1カ月の読書量の関係について調査した結果である。



(2001年10月26日毎日新聞朝刊による)

【問】グラフの説明として正しいものはどれか。

- 1 高校生全体では、携帯電話を持つ者は持たない者の約3倍である。携帯電話の所持と読書量との関係については、全体的な傾向として、読書量の多いグループほど携帯電話を持つ者の割合が高いと言える。
- 2 高校生全体では、携帯電話を持つ者は持たない者の約3倍である。携帯電話の所持と読書量との関係については、全体的な傾向として、読書量の少ないグループほど携帯電話を持つ者の割合が高いと言える。
- 3 高校生全体では、携帯電話を持つ者は持たない者の約3分の1である。携帯電話の所持と読書量との関係については、全体的な傾向として、読書量の多いグループほど携帯電話を持つ者の割合が高いと言える。
- 4 高校生全体では、携帯電話を持つ者は持たない者の約3分の1である。携帯電話の所持と読書量との関係については、全体的な傾向として、読書量の少ないグループほど携帯電話を持つ者の割合が高いと言える。

男の古典的な勘ちがいの最たるものは、女性は家事がきらいではないという手前勝手な(注1)信仰だろ
う。
誤解がある。女性の十中八、九は、家事がきらいなのである。それも、大っきらいなのだ。
きらいだが、それは仕事だし、ほかにやる人がいないから、①しかたなしにやる。「②手伝え」ったって、夫は連日仕事で忙しい。本当は、③なにをしてるのか、わかりやしないのだが。
会社を辞めて④家にはいるとなったら、もう猶予はきかない(注2)。夫にも、それ相応の家事をやってもらおう。いままでの償いの分もふくめてだ。たいがい女性はそう考えているのではないか。

(高任和夫『転職会社辞めて気づくこと』講談社になる)

(注1) 手前勝手な：自分勝手な、自分だけの都合を考えた

(注2) 猶予はきかない：待つてはいられない

【問】①「しかたなしにやる」、②「『手伝え』ったって」、③「なにをしてる」、④「家にはいる」、とあるが、①「やる」、②「言う」、③「している」、④「はいる」のはそれぞれだれか。適当な組み合わせを選びなさい。

- 1 ①：夫 ②：夫 ③：妻 ④：妻 2 ①：妻 ②：夫 ③：妻 ④：夫
3 ①：妻 ②：妻 ③：夫 ④：夫 4 ①：夫 ②：妻 ③：夫 ④：妻

(4)

世間には、「のせ上手」の人がいる。たとえば、相手がしゃべりたくもないことをうまくリードして(注)、いつの間にかその気にさせてしまう人である。

こういう人は案外、「聞き上手」な人に多い。大汗をかいて馬を引っ張って水飲み場に連れていくのではなく、なんとなくお尻を叩きながら、いつしか自分の意志で馬を水飲み場へ行かせてしまう人なのだ。

友人にあとで悪く思われることもない。なぜなら、のせられる人も、隠したいことほどしゃべりたい話だからである。

(神津カンナ『その人のどこが人を魅きつけるのか』三笠書房による)

(注) リードする：導く

【問】「自分」に当たるのはどのような人か。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 相手をその気にさせる人 | 2 馬を水飲み場へ行かせる人 |
| 3 のせられる人 | 4 聞き上手な人 |

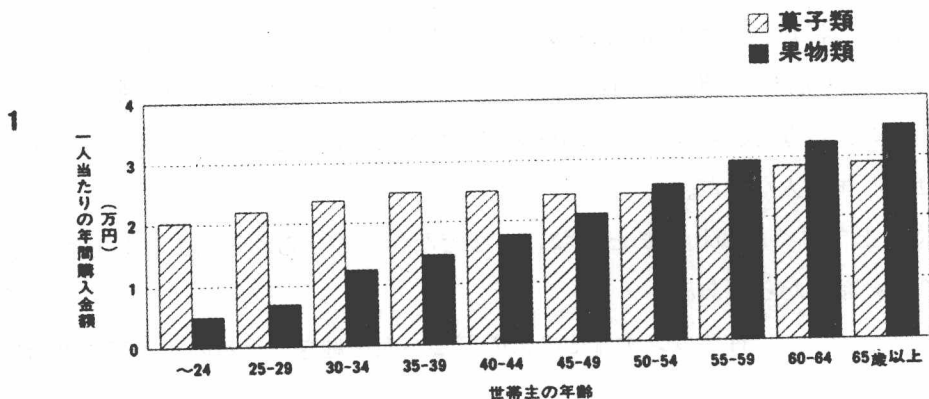
(5)

最近、果物の消費が伸びていません。そこで、果物の年間購入金額を調べてみました。一人当たりの購入が最も多いのは世帯主が65歳以上の家庭で、最も少ないのは世帯主が24歳以下の家庭でした。金額にすると、前者は23,494円、後者は5,036円と、約4.7倍も差が開いています。

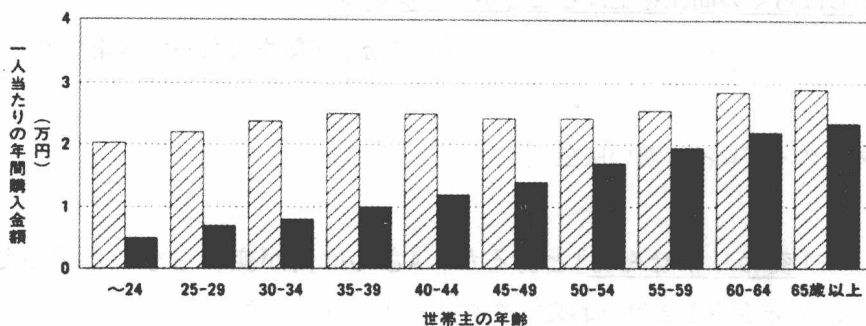
果物の「敵」は、お菓子だとよく言われています。やはり、菓子類でも購入金額が最も多いのは世帯主が65歳以上で29,117円、少ないのは24歳以下で20,199円となっています。ところが、果物と菓子類とでは、やや違った傾向が見られます。いずれの年齢の世帯主の家庭でも、果物より菓子類の購入金額の方が多いのですが、年齢が上になるほど、この差は小さくなっていきます。これは、果物の購入を伸ばすためには、若い家庭に対する宣伝がもっと必要だということでしょう。

(グラフ：総務庁統計局編『家計調査年報平成4年』大蔵省印刷局による)

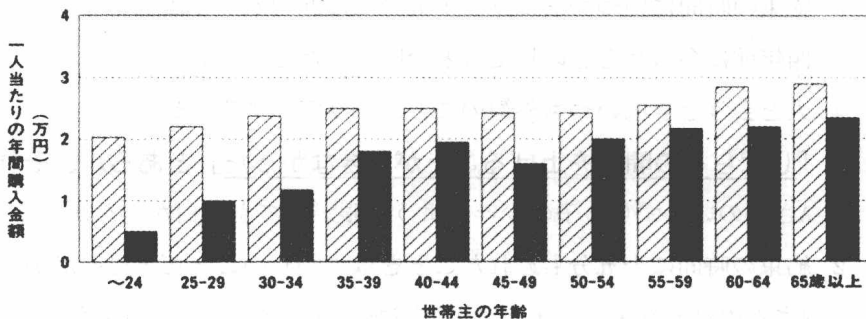
【問】次のグラフの中から説明に合っているものを選びなさい。



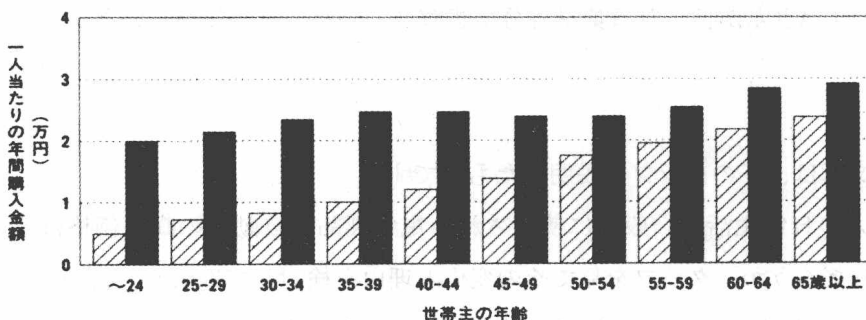
2



3



4



(6)

「太田さん、①「変わりませんね」

(中略)

四年ぶりにホテルのティー・ルームでお会した編集者のAさんからそのようにいわれた時、わたしは見た目のことをいわれたのだと思って、自然にっこりした。

「Aさんも、お変わりありませんわ」

ダーク・グレイ (注) のスマートな背広姿は、四年前と変わりがなかったが、その髪にはいくらか白いものが目立つようになったなと思いながらそういったのである。

「いや、ちょうど十五分、遅刻したところですよ」

Aさんは眼鏡の奥の眼をいたずらっ子の少年のように、わざと大きくしながらいわれた。

私は、②しばらくの間顔を上げることができなかった。

(太田治子『気ままなお弁当箱』中公文庫による)

(注) ダーク・グレイ：濃い灰色

【問1】①「変わりませんね」とあるが、Aさんは何が変わらないと言ったのか。

- 1 人と会うときは「お変わりありませんね」と言うこと
- 2 約束の時間にいつもちょうど十五分だけ遅刻するくせ
- 3 四年前に会ったときの見た目と今回会ったときの見た目
- 4 人と会うときはいつも外観のことばかり気にするくせ

【問2】②「しばらくの間顔を上げることができなかった」とあるが、それはなぜか。

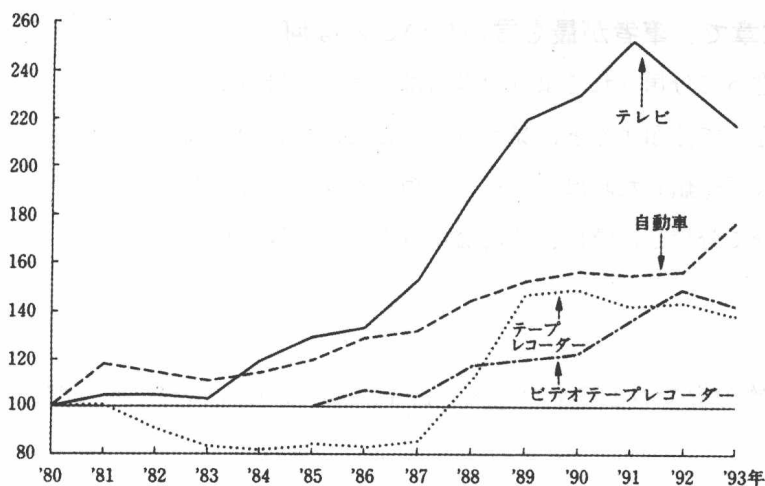
- 1 Aさんのいたずらっ子の少年のような眼がとても面白かったから。
- 2 約束の時間に十五分も遅れたことをはづかしいことだと思ったから。
- 3 Aさんのダーク・グレイの背広姿があまりにスマートに見えたから。
- 4 Aさんが言った言葉を自分が誤解していたことに気がついたから。

(7)

次の文章は、下のグラフを説明したものです。

日本人の日常生活で一般的に使用される電気製品や自動車の購入価格はどのように変化しているだろうか。グラフを見てその変化と理由を検討してみよう。このグラフは1980年の購入価格を100としたときの毎年の購入価格を表したものである。(a)は、1987年を境に購入価格が急速に上昇したが、1989年からはあまり変化していない。その理由としては1988年頃、CDプレーヤーがついて価格が上がったためと考えられる。(b)も同様に1987年頃から大幅に価格が上昇しているが、1991年を頂点にそれ以後下降に転じている。これは大型化による価格の上昇とその後の消費者の大型離れが影響していると考えられる。1985年から統計をとり始めた(c)を見ると、購入価格は少しずつ上がってきたが、1992年以後、やや下降し始めている。(d)も、1983年から次第に上昇し、さらに1993年には大きく購入価格が伸びている。その理由は輸入が増加したからである。

(グラフ：家計消費研究会編『家計簿からみたニッポン1994』による)



【問】 グラフを見て、文章中の（ a ）（ b ）（ c ）（ d ）にはそれぞれ何が入るか、次の組み合わせの中で正しいものを選びなさい。

- 1 a: テレビ b: ビデオテープレコーダー c: 自動車 d: テープレコーダー
- 2 a: テレビ b: テープレコーダー c: ビデオテープレコーダー d: 自動車
- 3 a: テープレコーダー b: テレビ c: 自動車 d: ビデオテープレコーダー
- 4 a: テープレコーダー b: テレビ c: ビデオテープレコーダー d: 自動車

(8)

そとやましげ ひ こ
外山滋比古氏は、「象は鼻が長い」というタイトルで二重主格を扱った日本語文法論の本が、書店で童話の棚に入れられてしまった話を紹介している。

このように、誤って不適切な分類項目に入れてしまうと、^{けんさく}検索（注1）できなくなる。分類作業を他人に任せている場合、この種の事故は、^{ひんぱん}頻繁に発生する。

自分でやっけていても、^{さくご}錯誤で誤入する場合がある。正しい項目をいくら探しても、目的の資料は出てこない。しかも、誤って入れたのだから、どこに入ってしまったかは、見当もつかない。そこで、すべての項目を探すようなはめ（注2）になる。

（野口悠紀雄『「超」整理法』中央公論社による）

（注1）^{けんさく}検索：調べてさがし出すこと

（注2）はめ：困った結果

【問】この文章で、筆者が最も言いたいことは何か。

- 1 間違って分類されるような書名はつけないほうがいい。
- 2 間違って分類すると、見つけだすことができなくなる。
- 3 他人が分類した時は、すべての項目を探す必要がある。
- 4 自分で分類した時は、適切な項目をすぐに探し出せる。

(9)

街中や乗り物の中での①アナウンス(注1)は、必要な情報以外は聞き流してしまうことが多い。

先日ある私鉄電車に乗っていて、耳に残るアナウンスを聞いた。もうじき終点というとき、車掌らしい男性の声で「本日も日が沈み、寒くなってまいりました、皆様お気をつけてお降りくださいませ。すてきな週末を過ごされますよう、お祈り申し上げます」と、確かこのような言葉だった。車内の人々一瞬(注2)聞き耳をたてたり、顔を見合わせクスリと笑ったり(注3)、それぞれ反応は違ったが、何となく和やかな雰囲気になって降りていった。

飛行機や新幹線などでは聞いたかもしれないが、この私鉄でこのようなアナウンスを聞いたのは初めてだ。ゆっくり考えつつ言っているような口調(注4)だったので、たぶん個人的なサービス精神で言ってみたのではないかと思う。それとも、わたしが知らないだけで、日没時にはそう言う②決まりになっているのかもしれないが、マニュアル(注5)を棒読み(注6)しているアナウンスが多い中で、たまに機転をきかせた(注7)言葉にふれると、それだけで新鮮に思え、人間味を感じてしまうから不思議だ。とはいえ感じ方もいろいろなので、よけいな情報を聞きたくない人もいるだろう。口調や、タイミング、時間帯などによってうるさく感じる場合もあるかもしれないので、③そこは難しいところだが、乗り物などの場合、動かしている者と乗っている者、お互いに人間なのだと意識できるという意味では事故抑制にもつながるかもしれない。

印刷された年賀状でも、たったひと言直筆(注8)の言葉が添えてあるだけで、親しみを感じられるように、マニュアル化された言葉の中にもほんのわずか、自分の言葉が含まれていると人間味を感じることができるのだと思わせられる出来事だった。

(神田茜『断』産経新聞2007年11月17日付朝刊による)

(注1) アナウンス：ここでは、車内放送

- (注2) 一瞬^{いっしゆん}：きわめてわずかの間
- (注3) クスリと笑う：軽く笑う
- (注4) 口調^{くちよう}：話し方、話す様子
- (注5) マニュアル：やり方を説明したもの
- (注6) 棒読み^{ぼうよ}：単調な読み方
- (注7) 機転^{きてん}をきかせる：工夫して上手に対応する
- (注8) 直筆^{じきひつ}：その人の手で書いたもの

【問1】この①「アナウンス」が筆者の耳に残ったのはなぜか。

- 1 内容がおかしかったから
- 2 適切な情報が得られたから
- 3 言葉遣いが丁寧だったから
- 4 情緒的な味わいがあったから

【問2】②「決まり」とはどのような決まりのことか。

- 1 その時間になると、筆者が聞いたのと同じアナウンスをする。
- 2 どんな客にもわかるように、明確にアナウンスの言葉を発音する。
- 3 決まった時間に、普段のマニュアルをいっそう丁寧にゆっくり読む。
- 4 サービス精神を発揮して、客を喜ばせることを必ずアナウンスする。

【問3】③「そこは難しいところだ」とあるが、何が難しいのか。

- 1 いいタイミングで的確な情報をアナウンスすること
- 2 状況に応じ内容や言い方を判断してアナウンスすること
- 3 乗客に好感を持たれるような口調でアナウンスすること
- 4 聞きたくない人もいるだろうと想像してアナウンスすること

【問4】本文の内容に合っているのはどれか。

- 1 アナウンスでは、乗客に直接語りかける言葉を使わない限り、情報が正確に伝わりづらい。
- 2 マニュアル通りのアナウンスだけでなく、自分の言葉を付け加えれば、乗客にその温かさが伝わる。
- 3 車掌はマニュアル化されたアナウンスに自分の言葉を足すことで、乗客の安全を確保すべきである。
- 4 自分の言葉が入っていなければ、どんなによくできたアナウンスのマニュアルも効果が発揮されない。

(10)

①僕はかたよっている。何がかたというと、たとえば映画が観^みたいと思うと何本も立て続けて見る。観るのではなく、見るというのがふさわしい。本も読む時間がなくてイライラしてくると、バカ買い(注1)して本を眺めている。読むのではなく、眺めている。友達と会いたいと思うと、何人にも電話をする。会ってる時間がないのに約束しようとする。肉を食べ過ぎていたと思ったら半年食べなかった。白菜(注2)がうまいと思ったら毎日食べてたときもある。車が運転したくなって夜中に河口湖(注3)周辺まで行った。なぜか僕はかたよっていて、ちょうどいい感じということを知らない気がする。つくづくバランスが悪いと思う。

(②) 最近ひとつだけうれしく思ったことがある。かたよってるからこそいまの自分があると痛感したのだ。確かに音楽の仕事にしろ、小説を書くことにしろ、偏向(注4)した性格でなければ続かなかった。しかしそれよりも、いつまでも壊れてしまったがらくた(注5)を捨てられないでいる自分が急に好きになったのだ。捨てずに置いてあるものが残っていたことがうれしかったのではない。捨てられないでいる自分の心が好きになったのである。

僕の胸の中に壊れてしまったハート(注6)がある。それを抱えたまま生きている。捨ててしまった方が荷物は軽くなるのに、いつまでも抱えている。

壊れたハートでこれからも歩いていく。

(須藤晃『みんなノイズを聴きたがる』による)

(注1) バカ買い: 無茶苦茶^{むちゃくちや}に買うこと、必要以上に買うこと

(注2) 白菜: 野菜の一つ

(注3) 河口湖: 富士山^{ふじさん}の近くの湖

(注4) 偏向: かたよっていること

(注5) がらくた: 使い道や値打ちのないもの

(注6) ハート: 心

【問1】①「僕はかたよっている」とあるが、それはどういうことか。

- 1 興味が持てるのは、映画しかないということ
- 2 不必要なものでも、何も捨てられないということ
- 3 イライラしてくると、本しか読めないということ
- 4 一度興味を持つと、それをやり過ぎてしまうということ